

領域2運営会議

2014年3月28日

- 2013年秋の分科会における学生優秀発表賞 受賞者
- 領域2からの若手賞受賞候補者について
- 物理学会領域会議から
- 領域2役員体制について(次期)
- **PLASMA2014**
- AAPPS-DPPについて
- JSPS学術研究センター(科研費の細目見直し)

運営会議って何？

- 領域2の役員からの活動報告
- 領域2での審議事項の審議
- 他からの報告
 - 報告はwebやe-mail mailingで出す以上のことを報告すべき。
 - (出せないもの、インフォーマルな情報)
 - 審議は、定足数はないので、あくまでも役員が行うことの確認
 - 他からの報告は領域2の活動に直接関与するものとメンバーに関与するものに分けるべき。
- シンポジウムや招待講演はあくまでも学会内領域運営会議では紹介。最終的には役員会に。
- 役員がシンポジウムや招待講演を提案するのをやめるべきか。

領域2役員

(2013.4から2014.3まで)

領域代表 **米田 仁紀** (電気通信大学)
領域副代表 **斉藤 輝雄** (福井大学)
領域前代表 **安藤 晃** (東北大学)

(2014.3まで領域委員、2014.9まで役員)

役員 **出射 浩** (九大応力研)
役員 **永岡 賢一** (核融合研)
役員 **宮戸 直亮** (原子力機構)

(2014.9まで領域委員、2015.9まで役員)

役員 (領域運営委員) **岡本 敦** (東北大学)
役員 (領域運営委員) **東口 武史** (宇都宮大学)
役員 (領域運営委員) **横井 喜充** (東大生産研)

(2013.10から2016.9まで役員、2014.4から2016.3まで領域委員、
2016.4から2016.9まで役員)

役員 (領域運営委員) **井戸 毅** (核融合研)
役員 (領域運営委員) **成行 泰裕** (富山大学)
役員 (領域運営委員) **難波 慎一** (広島大学)

(2014.4から2015.3まで)

領域代表 **斉藤 輝雄** (福井大)
領域副代表 **藤澤彰英** (九大)
領域前代表 **米田 仁紀** (電通大)

本多 充 (原子力機構) 理論シミュレーション
藤岡慎介 (阪大レーザー研) レーザー核融合
藤田隆明 (名大工学研究科) 磁場閉じ込め

2013年秋の分科会における学生優秀発表賞 受賞者

- ・永見亮介
（大阪大学大学院工）
- ・斎藤誠紀
（名古屋大学大学院工）
- ・江本伸吾
（東京大学大学院新領域）
- ・文贊鎬
（東北大学大学院工）



領域2からの若手賞受賞者

今回は7名の応募、選考委員会委員長は菊池満(日本原子力研究開発機構)さん

三木 一弘 日本原子力研究開発機構システム計算科学センター特定課題推進員
研究題目 少数自由度モデルが切り開くプラズマ乱流と遷移の物理
受賞理由:核融合プラズマにおける振動性帯状流(GAM)が引き起こす間歇輸送や超音速分子流入射(SMBI)による誘導L-H遷移の新しいモデルを構築するなど、世界の研究をリードする研究成果であり高く評価されることから、領域2の若手奨励賞としてふさわしいと判断した。

梶田 信 名古屋大学 エコトピア科学研究所 准教授
研究題目 繊維状ナノタングステン上での単極アークの発生とそのキャラクターゼーション
受賞理由:タングステンナノ構造形成における単極アークに関する研究は、先駆的・独創的な研究として高く評価される。論文引用数も多く、世界の研究をリードする研究成果であることから、領域2の若手奨励賞としてふさわしいと判断した。

領域会議から

1. 大会会場における撮影、録音の禁止について

今大会より、会場内での撮影・録音を禁止する事といたしました。
(ただし記念撮影等につきましては、問題ありません)

2. 年次大会における、複数登壇について(要領域代表承認)

これまで、年次大会では、一般講演は、複数登壇は認められず、1人1回の登壇となっておりました。原則は変わらず、申込み時は、1人1回といたしますが、やむを得ず登壇者が登壇できなくなった場合

・共著者に限り ・領域代表の許可をとり ・1人2回まで
の登壇が可能となりました。

これまで、複数登壇を禁止していた事で、講演取消になっていた講演を回避するためのものです。

登壇者から、「登壇者変更」の連絡が届き、新登壇者がすでに登壇者だった場合、受付センターより領域代表の承認をとるよう、連絡がくる事になっています。

急病等の場合もこの対応になります。

日本で1000人を超える基礎から応用までを含んだプラズマ・コンファレンス

PLASMA2014

2014. 11. 18-21

朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター

プラズマ・核融合学会第31回年会
応用物理学会プラズマエレクトロニクス分科会第32回プラズマプロセッシング研究会
日本物理学会（領域2）2014年秋季大会

我が国のプラズマ関連学会が協力し、プラズマ物理から工学、基礎から応用までの研究者を一同に集め、学会横断的な議論を行うことでプラズマ科学の新たな発展を生み出す目的で開催する会議です。

Lecture session



Opening & plenary session



今後の予定

招待講演ノミネーション
一般講演募集

~1/31/2014
4/1 ~ 8/1/2014

参加登録費
2万円(関連学会会員)
4千円(学生)

PLASMA2014

2014. 11. 18-21

朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター

D. Campbell

Status and Progress of ITER Project - Plasma Performance and Research Plan

堀勝

半導体からバイオまでのプラズマプロセス



我が国のプラズマ関連学会が協力し、プラズマ物理から工学、基礎から応用までの研究者を一同に集め、学会横断的な議論を行うことでプラズマ科学の新たな発展を生み出す目的で開催する会議です。2011年に金沢で開かれた第1回に続く2回目の会議です。国内外から多くの参加者をお待ち申し上げます。

Second circular (with call for abstracts)
Deadline for abstract submission

Beginning of April 2014
August 1, 2014

主催 日本物理学会、プラズマ・核融合学会、応用物理学会プラズマエレクトロニクス分科会

参加登録費：2万円(関連学会会員)、4千円(学生)

*物理学会秋季大会参加者は、聴講：無料、講演：差額（一般：1万5千円、学生：1千5百円）で参加できます。

問い合わせ先： PLASMA2014事務局 TEL 052-735-3185

1. 基調講演決定

ICF, MCF, Appl., Space の4件

2. 招待講演(2/28一般締切)

現在66件のノミネートの中から採択課題を決定中

3. シンポジウム受付開始中

2014年5月9日(金)昼12時まで

4. 一般講演受付

2014年8月1日(金)昼12時まで

5. インフォーマルミーティング申し込み

2014年8月初旬の予定

6. プログラム決定 8月末

7. 予稿オンライン登録

2014年10月24日(金) 17時まで

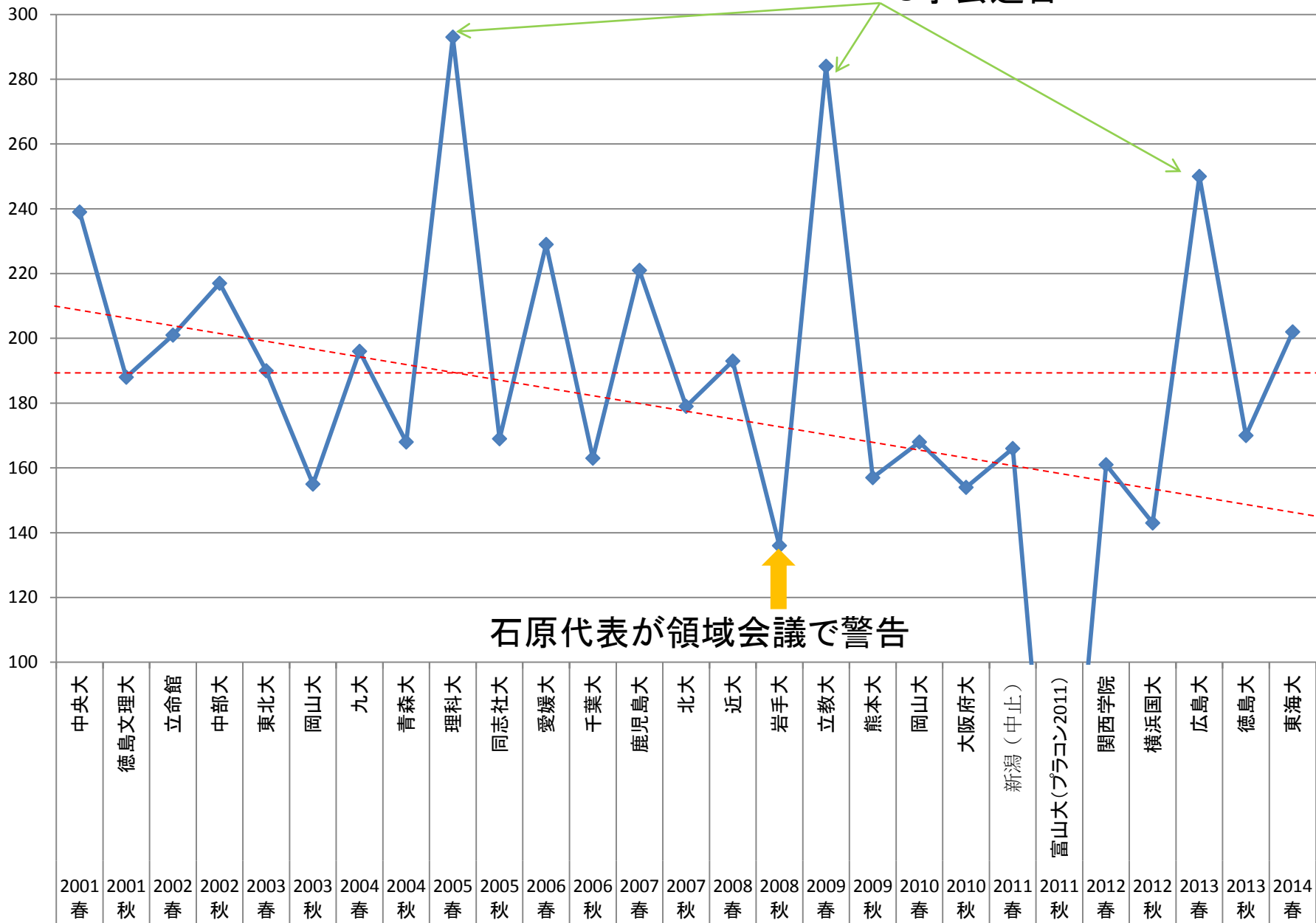
8. 事前参加登録

2014年10月31日(金)まで

データで見る領域2の状態

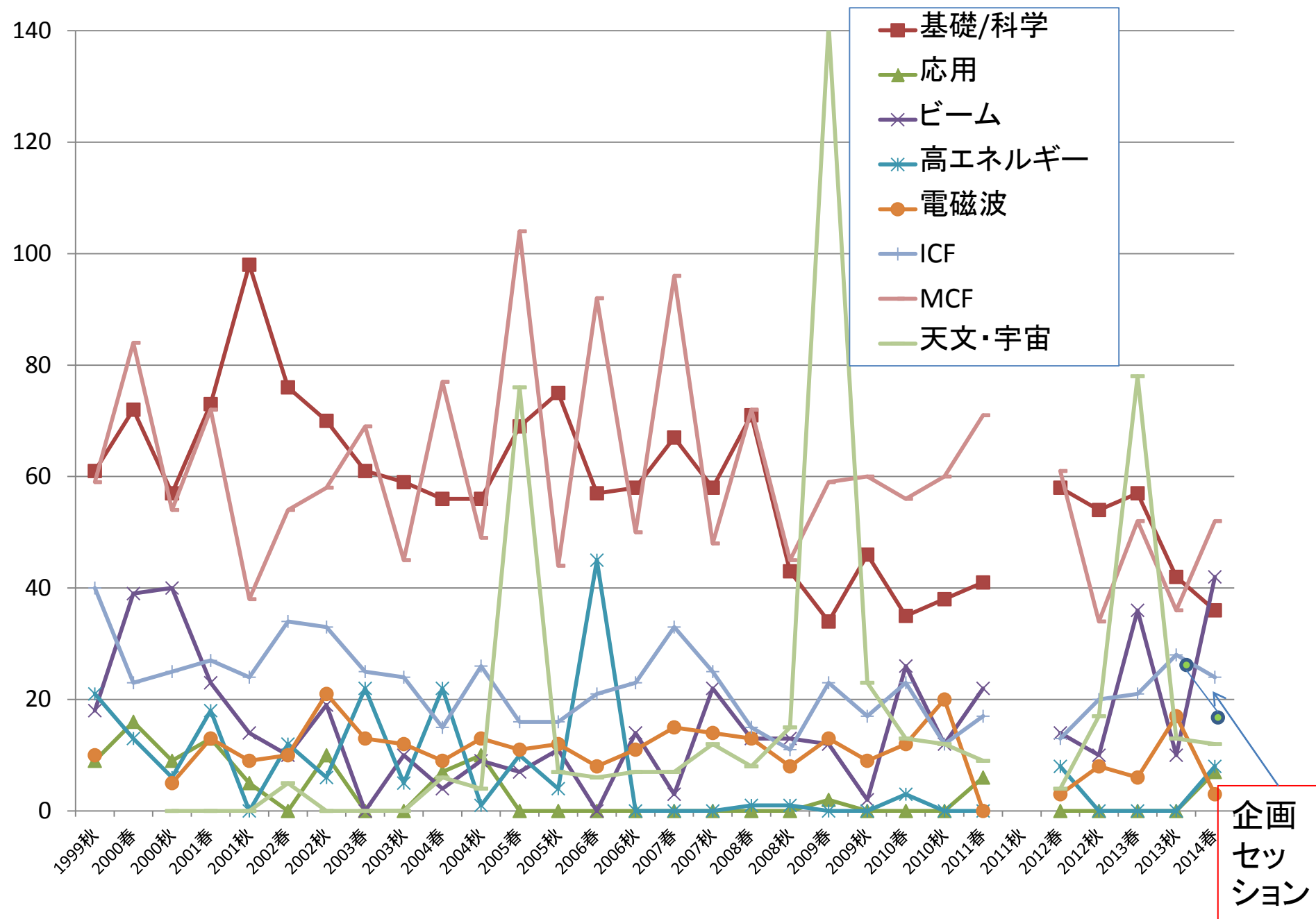
領域2講演数の推移

3学会連合



石原代表が領域会議で警告

領域2内分野別講演数の推移



企画セッション

日本学術会議物理学委員会の活動報告

日本学術会議会員 物理学委員会委員長

伊藤早苗(九州大学)

3月29日12:30~13:30 会場SA

「日本学術会議との連絡会」にて報告します。
来聴下さい。

2 2期の活動報告

学術の大型装置計画・大規模研究計画（マスタープラン）

意思表示：物性物理学、一般物理学分科会（田島節子会員）

「夢・ロードマップ」の改訂（相原第三部幹事）

物理学教育の質保証：状況（相原第三部幹事）

APPC12 /ASEPS 報告・謝辞

M. Sasao 2014/03/28

- 2013年7月14日(日)より19日(金)まで千葉県の幕張メッセ国際会議場において日本物理学会・応用物理学会の共催でアジア太平洋物理学会(APPC12)を開催。
- 参加者1256人(海外約300名)、発表論文数1153件(内訳:招待講演169件、プレナリー講演23件、一般講演984件)、参加国数28カ国。
- そのうち、プラズマ関係は招待講演41件、プレナリー講演4、一般講演261件、ほぼ1/4。
- プロシーディングは先週出版。108論文がプラズマ関係。
- これらは領域2の関係者はじめ、多くのプラズマ関係者の努力の成果。領域2のみならず、会議参加者、プログラム委員、プロシーディング編集委員、レフェリーに深く感謝いたします。
- この結集力をアジア太平洋地域のプラズマ研究者のネットワークへと発展させるためDPP (Division of Plasma Physics)の設立を提案 (Division設立は永宮前AAPPS会長の方針に応えたもの)、承認されました。

AAPPS-DPPについて

M. Kikuchi 2014/03/28

- AAPPS-DPP : AAPPS傘下の最初のDivision
(HP:<http://aappsdp.org/AAPPSDPPF/index.html>)。
- 創立メンバー:12カ国/領域 91名。
- 執行部 : Chair : M. Kikuchi, Vice Chairs : Liu Chen (D-0), A. Sen (D-1), M. Shiratani (D-2), Z. Sheng(D-3), D. Ryu (D-4), M. Hole (APPC), Chief Division secretary: Lin-Ni Hau, DPP secretary: K. Imadera, HP 担当: 永井先生(前物理学会専務理事)
- 分野 : Fundamental plasma physics (D-0: MHD, Turbulence, Transport, etc.), Basic plasma (D-1: Diagnostics, Simulation, complex/dusty plasma, A&M, etc.), Plasma Processing (D-2: plasma processing, medicine, etc.), Laser Plasma (D-3:ICF plasma, Laser wake field acceleration, etc.), Astro/Solar/Space plasma (D-4: 天文、太陽、惑星圏プラズマ)、Education/Woman in plasma physics (L. Hau)
- 国際諮問委員会(I-HAC): A. Hasegawa, FF Chen, L.C. Lee, T. Tajima, X. He, W. Namkung, CS Chang, K. Mima, R. Boswell, 笹尾、高部、などの先生方
- 次回APPC: オーストラリア、その他の会合はこれから。
- 会員募集中(会費は当面無料)。現在200名を超える。
- 今後 : Alfvén, Maxwell賞と並ぶ賞の創設。論文誌などを考慮中。

JSPS学術研究センターから


- 科研費の新しい細目と現在までのプラズマ関係の採択数について

	数物系		工学		工学		総合理工		全体	
	プラズマ科学		プラズマ(応物)		核融合		プラズマエレクトロニクス			
	基盤S, 若手A	基盤B, C	基盤S, A	基盤B, C	基盤S, A	基盤B, C	基盤S, A	基盤B, C	基盤S, A, 若手A	基盤B, C, その他
2013									10	93
2012									8	113
2011	4	52	1	3	9		54		14	109
2010	5	39	1	5	6		45		12	89
2009	3	43	0	2	6		43		9	88
2008	3	37	1	0	8		43		12	80
2007	4	47	0	1	5		41		9	89
2006	6	42	1	1	2		51		9	94
2005	3	50	0	2	7		48		10	100

細目の見直しが来る?)

学術振興会賞、育志賞にも出してください。

領域2では、学生優秀発表賞 受賞者のノミネートを行いたい
と思います。

総数  87+535+399 ~ 1000

2015年度の年会の準備を 早稲田です！

- シンポジウムの申し込み
- 招待講演の申し込み
- 一般講演の申し込みがPLASMA2014の会期前後です。

懇親会のお誘い

学生1000円にします

日時 3/28 (金) 18:00~20:00

場所 東海大学湘南校舎内 「ログハウス」 0463-59-6176

参加費 一般 3,500円 学生 2,000円

申し込み締め切り 3/25 (火) 17時まで

定員 50名

